

みずほCustomer Desk Report 2018/07/25 号(As of 2018/07/24)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.29
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	111.46	1.1694	130.30	1.3104	0.7380
SYD-NY High	111.51	1.1717	130.35	1.3160	0.7434
SYD-NY Low	110.96	1.1655	129.75	1.3072	0.7359
NY 5:00 PM	111.20	1.1682	129.96	1.3143	0.7418
NY DOW	25,241.94	197.65	日本2年債	-0.1200	▲1.00bp
NASDAQ	7,840.77	▲1.10	日本10年債	0.0800	0.00bp
S&P	2,820.40	13.42	米国2年債	2.6352	0.44bp
日経平均	22,510.48	113.49	米国5年債	2.8204	▲0.16bp
TOPIX	1,746.86	8.16	米国10年債	2.9495	▲0.93bp
シカゴ日経先物	22,580.00	95.00	独10年債	0.3945	▲0.95bp
ロンドンFT	7,709.05	53.26	英10年債	1.2740	0.45bp
DAX	12,689.39	140.82	豪10年債	2.7120	4.60bp
ハンセン指数	28,662.57	406.45	USDJPY 1M Vol	7.61	▲0.15%
上海総合	2,905.56	46.02	USDJPY 3M Vol	7.76	▲0.04%
NY金	1,225.50	▲0.10	USDJPY 6M Vol	7.98	▲0.03%
WTI	68.52	0.63	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	193.19	0.70	EURJPY 3M Vol	8.05	0.09%
ドルインデックス	94.61	▲0.06	EURJPY 6M Vol	8.45	0.05%

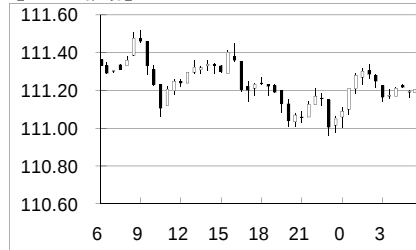
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月24日	16:30	独 マークイット製造業PMI・速報	7月 57.3	55.5
	16:30	独 マークイットサービス業PMI・速報	7月 54.4	54.5
	17:00	欧 マークイット製造業PMI・速報	7月 55.1	54.7
	17:00	欧 マークイットサービス業PMI・速報	7月 54.4	55.1
	22:45	米 マークイット製造業PMI・速報	7月 55.5	55.1
	22:45	米 マークイットサービス業PMI・速報	7月 56.2	56.3
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	7月 20	18

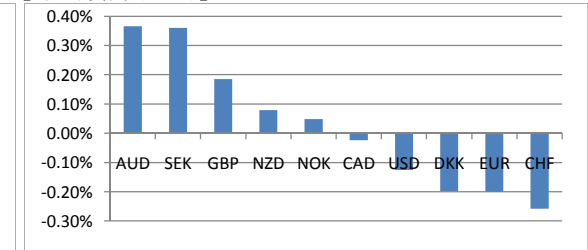
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月25日	10:30	豪 GPI(前期比/前年比)	2Q 0.5%/2.2%	0.4%/1.9%
	17:00	独 IFO企業景況感指数	7月 101.5	101.8
	23:00	米 新築住宅販売件数	6月 668k	689k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00—111.50	1.1660—1.1720	129.70—130.20

【マーケットインプレッション】

月末の日銀金融政策決定会合において異次元金融緩和に対し何らかの調整が仄めかされるとの思惑が強まり、ドル/円相場の上値が重くなっている。一方で、110円台が近づくとこれまでドルを買い遅れてきた筋からのドル買いもそれなりに見受けられ、トレンドを作って下落するまでには至っていない。またユーロについても本日のトランプ米大統領とユンケルEU委員長の会談や明日のECB理事会を控えて動きづらい状況である。

アジア	オセアニア時間、高値111.51まで上昇したドル円は、東京時間を111.46レベルでオープン。日銀が長期金利誘導目標の柔軟化を検討するとの観測も燃る中で上値は重く、円買い優勢の動きが活発となりドル円は111.06まで下落。一巡後は次第に値を戻し、特段材料もない中で111.30付近で動意に乏しく推移した後、111.40レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、111.40レベルでオープン。日銀の金融政策修正への警戒感から小動き、111.01まで下落するも111円台はキープし、111.06レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1671レベルでオープン。朝方発表の7月の独製造業PMIが予想を上回ったことでユーロに買い戻しが入ると、1.1717まで堅調に推移し1.1711レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	月末の日銀金融政策決定会合を前に、長期金利操作目標の柔軟化の思惑が強まり、上値の重いドル円は、海外市場でドル売りが優勢となったこともあり111.01まで下落し、111.06レベルでNYオープン。短期筋の買い戻しが持ち込まれているとの話もあり、111.21まで戻すが、特段ニュース等が見当たらない中、ドル円は安値110.96まで下落。その後111.34まで戻す局面もあったものの、NY午後は111.20付近での推移が続き、結局111.20レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1711レベルでNYオープンすると、ドルが買い戻される展開に1.1674まで反落。NY午後は25日予定されているトランプ大統領とユンケルEU委員長の会談や、26日のECB理事会を控え、狭いレンジでの推移が続き、1.1682レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:加藤・田家